

## B 外国人をもっと知ろう

### 外国人の地域別特性

北海道を訪れる外国人の地域別特性を簡単に整理しました。これはあくまで一般的に言われている特性ですが、もちろん個人によって、またグループの形態によって大きな違いがあります。その点を十分認識した上で、上手にコミュニケーションをとることが重要です。

<b>台湾</b>	通貨／台湾元（ニュータイワンドル（NT\$）、圓とも表記） 言語／中国語（北京語）、台湾語 ※文字は「繁体字」 国の花／梅
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外旅行経験者が多く、日本にとっても韓国に次いで2番目に多い外国人観光客である。</li> <li>● 団体旅行が多いが、個人旅行も増えつつある。</li> <li>● 雪が降らないので、雪を見るのが好き。</li> <li>● 温泉が好き。</li> <li>● 海外旅行に慣れているが、時間にはややルーズ。</li> </ul>
行動スタイルなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「黒地に白文字」は葬式のイメージがあり、好まれない。</li> <li>● 9のつく歳を嫌うため、29歳で結婚することをさける。</li> <li>● 指で数を示すとき、10は両手の人差し指で「+」を作る。</li> <li>● 感謝を表わす時は、掌をあわせて上下に振る。</li> </ul>
応接ポイント	<p>！日本語が分かる人が多いので日本語の言葉遣いや話題に配慮する。</p> <p>！メンツを重んじる国柄なので、相手のプライドを傷つけないように気をつける。</p>

<b>中国</b>	通貨／人民元 言語／中国語（北京語） ※文字は「簡体字」 国の花／梅、牡丹
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 団体旅行が多い。</li> <li>● 写真撮影が好き。</li> <li>● 寺社、仏閣は中国の方が本場だと思っているので、有名な所以外では関心が高くない。</li> </ul>
行動スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゲップは「ごちそうさま」の意味で失礼ではない。</li> <li>● 団体行動が苦手で、列に並ぶことをあまりしない。</li> <li>● 北京語は日本人には怒っているように聞こえる時があるが、普通の内容を話していることが少なくない。</li> </ul>
応接ポイント	<p>！メンツを重んじる国柄なので、相手のプライドを傷つけないように気をつける。</p> <p>！突然の予約、キャンセルが多いので注意する。</p>

<b>韓国</b>	<p>通貨／ウォン (W)                  言語／韓国語 ※文字は「ハングル文字」                  国の花／ムクゲ</p>
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本に来る外国人観光客の中で最も多い。</li> <li>●家族や親しい友人と小グループで旅行し、1箇所に滞在することが多い。40～60代は団体旅行も多い。</li> <li>●インターネットで旅行の情報を集める人が多い。</li> <li>●温泉が好き。</li> </ul>
行動スタイルなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目上の人とお酒を飲む時には飲む口元を隠す。</li> <li>●男性はあぐら、女性は片足立てで座るのが正式な座り方。</li> <li>●食器をテーブルに置いたまま食べる。持って食べるのは不作法となる。</li> <li>●はじめに焼酎、次にビールやウィスキーを飲むことが多い。</li> </ul>
応接ポイント	<p>◎「アンニョンハセヨ」(こんにちは)「オソ オプシオ」(いらっしやい)など韓国語であいさつすると喜ばれる。</p> <p>!日本語が分かる韓国人は多いので、日本語の言葉遣いや話題などに配慮する。</p> <p>!突然の予約、キャンセルが多いので注意する。</p>

<b>香港</b>	<p>通貨／香港ドル (HK\$)、セント (¢)                  言語／中国語 (広東語) および英語 ※文字は「繁体字」                  国の花／バウヒニア</p>
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旅行経験が豊富で旅慣れている人が多い。</li> <li>●個人旅行が多い。</li> <li>●香港には日本料理店も多く、食への関心が高い。</li> <li>●「英語版」より「繁体字版」を好む。</li> <li>●香港にはない大自然への関心が比較的高い。</li> <li>●親や兄弟でも一緒にお風呂に入らないので、人に裸を見られることによりかなり抵抗がある。</li> </ul>
行動スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建物の階数の数え方として1階を「GF (グランド・フロア)」と呼び、2階を「1階」とする。</li> </ul>
応接ポイント	<p>!分煙が徹底されているので食事中の喫煙を嫌う。</p> <p>!香港では、公共交通機関の車内でも携帯電話の通話が可能なので通話することを気にしない場合がある。</p>

シンガポール	通貨／シンガポール・ドル (S\$)、シンガポール・セント (S¢) 言語／マレー語、中国語、英語、タミール語 国の花／バンダ・ミスジョアキム (蘭)
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 滞在型よりも、多くの観光地を巡る旅行スタイルを好む。</li> <li>● 北海道旅行への人気が高い。</li> <li>● 親や兄弟でも一緒にお風呂に入らないので、人に裸を見られることによりかなり抵抗がある。</li> </ul>
応接ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>✕ 白・青・黒の色は、祝い事の席では避ける。</li> <li>✕ 花、ナイフ、置時計を祝いのプレゼントとするのはタブー。</li> </ul>

マレーシア	通貨／マレーシア・リングgit (RM)、マレーシア・セント (¢) 言語／マレーシア語 国の花／ハイビスカス
応接ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>! ムスリム (イスラム教徒) の人口が多いので、礼拝や食事の制限などがあり、それらへの対応が必要。</li> <li>! 握手は、差し出された手を軽く握る程度。歓迎の気持ちを表現したい時は、握手の後に自分の手を胸に持っていく。</li> </ul>

オーストラリア	通貨／オーストラリアドル (A\$)、オーストラリアセント (A¢) 国の花／ゴールデンワトル
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人旅行が多い。</li> <li>● 滞在日数が長い傾向にある。</li> </ul>
応接ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>! オーストラリアにはお酒持ち込み OK の店があり、持ち込むことを気にしない場合がある。</li> <li>✕ 捕鯨に関する話題、鯨料理は避ける。</li> </ul>

欧米	
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビジネスで訪れる割合が比較的高い。</li> <li>● 個人旅行が多い。</li> <li>● 滞在日数が長い傾向にある。</li> <li>● 家族や親戚にお土産を買っていくという習慣はなく、自分のために気に入ったものを買っていく。</li> </ul>
行動スタイルなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ものを買って梱包開封した後も、レシートがあれば返品 OK。</li> <li>● 会話中のくしゃみ、鼻をすすることは嫌われる。(鼻をかむのはOK)</li> <li>● 人前であくびをすることは失礼なことではない。</li> <li>● 足を組むのは「リラックスしていますよ」という意味で、特に失礼にはあたらない。</li> <li>● 【イギリス】建物の階数の数え方として1階を「GF (グランド・フロア)」、アメリカでは「first floor (ファースト・フロア)」と呼び、2階を「1階」とする。</li> </ul>
応接ポイント	<p>! 「できる」「できない」「はい」「いいえ」の意思表示をはっきりすること。特にトラブルになった場合、あいまいにしていると責任を追及される。</p> <p>! 日本では“失礼します”を謝る時と同じように「すみません」だが、英語はすみませんは「I'm sorry」、失礼します(失礼ですが)は「Excuse me」なので使い分ける。</p> <p>! トラブルになった場合、「I'm sorry」とすぐに言わない。これも責任を追及されるものになるので注意する。</p> <p>! 男性から女性に握手を求めてはいけない。</p> <p>× 宗教、人種の問題に軽率に触れることは避ける。</p> <p>× 気軽に女性の身体に触れない。日本的感覚では冗談ですむようなこともセクシャルハラスメントと見なされる。</p> <p>× 相手のプライバシーに立ち入ったり、女性に年齢、既未婚、子供の有無などを聞かない。</p> <p>× 指さして人を指すことは「ピストルを構える」しぐさと同等で日本よりも厳禁。</p> <p>× 【イギリス】イギリスは、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランド出身者の複合民族国家なので、「English」とひとくくりで表現しない。</p> <p>× 【ドイツ】戦争について話すのはタブー。ことにナチスやヒトラーに関する発言は厳禁。</p> <p>× 【ドイツ】大気汚染などの環境問題に対し、日本人よりはるかに敏感です。</p> <p>× 【フランス】上流階級出身者に対してフランス革命の話はタブー。</p> <p>× 【カナダ】環境保護や動物愛護の精神が高いため、捕鯨などの話題には注意が必要。</p> <p>× 【カナダ】生活面での規則が比較的厳しく、屋外の公共の場所での飲酒や喫煙に敏感な人が多い。</p>

参考資料：公益社団法人日本観光振興協会「訪日外国人おもてなしガイドブック」など